

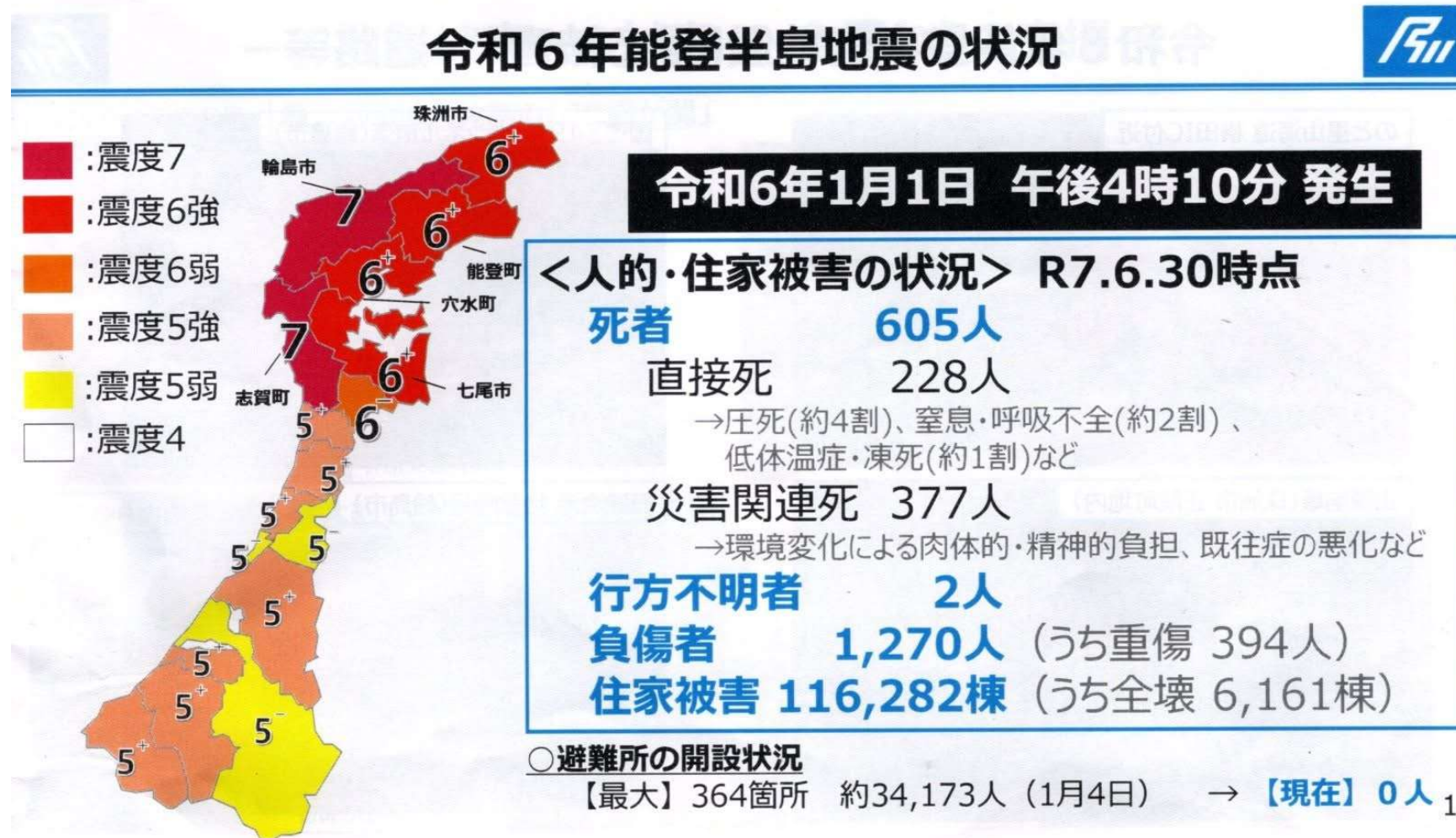
2025年9月10日

一般質問



荒井靖行

①-1 令和6年能登半島地震の状況



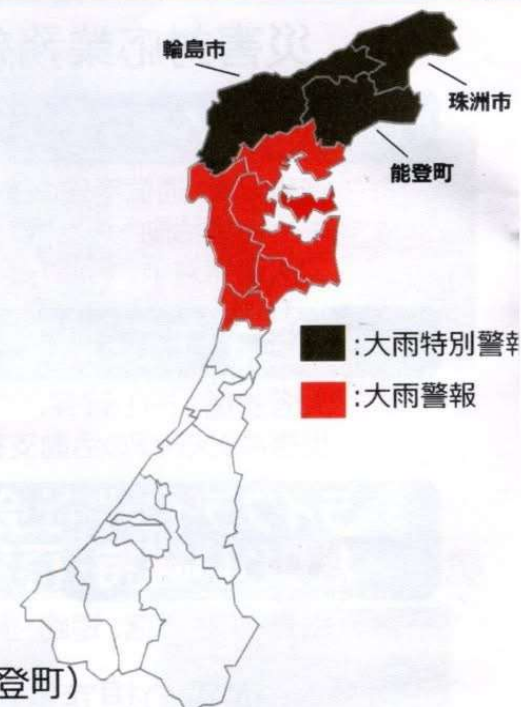
①-2令和 6 年能登豪雨の概要

令和 6 年奥能登豪雨の概要



気象の状況

- 1 顕著な大雨に関する気象情報（**線状降水帯の発生**）
9月21日（土）9時7分発表 能登地方
- 2 記録的短時間大雨情報（1時間100mm以上の大雨）
9月21日（土）5回発表（輪島市、能登町）
- 3 **大雨特別警報 ※県内で初めて発表**
9月21日（土）10時50分発表（輪島市、珠洲市、能登町）
9月22日（日）10時10分解除
- 4 大雨警報
9月21日（土）～23日（月）8市町
（七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、中能登町、穴水町、能登町）



観測史上1位

最大 1 時間降水量：輪島で**121.0ミリ**、珠洲で**84.5ミリ**
最大48時間降水量：輪島で**498.5ミリ**、珠洲で**394.0ミリ**

①-3 石川県金沢市➡輪島市へバス移動

自動車専用能登里山海道

多くのがけ崩れ



①-4 豪雨被害現場（仮設住宅も浸水被害）

住宅流出で2人死亡



車両残骸跡



①- 5 石川県輪島市朝市

出張輪島朝市



朝市火災跡地



①- 6 石川県輪島市の復旧状況

隆起により漁港使用不能



解体も未完了



①-5 石川県輪島市の復旧状況

千枚田は半分復旧



仮設水道管



①-6 視察で学んだこと

- 復旧にあたった職員 102名 看護師 90人が心労で退職。
- 職員は支援物資に手をつけられなかった。職員用の備蓄を。
- 民間企業が電気・通信を復旧させたが上水道は未復旧。

2次避難先から帰還できず事実上の人口減を招く。

- 避難訓練は発生する時間・季節・複合事象に対応して多くのケースを想定すべき。
- 避難所では1人世帯の孤立が著しく、自宅に戻る人が。

➡水道管の耐震性確保・災害訓練・
日常の助け合い精神が重要

②-1 ワークショップとは

市民と実施機関及び市民同士の自由な議論により、
市民意見の方向性を見出すことを目的とする集まり

ワークショップの一例として

タイトル：

白井市のインバウンド観光の可能性について考えよう。

ゴール：

「観光課」設置すべきか

参加者：①OTA事業者（インバウンド向け予約事業者）

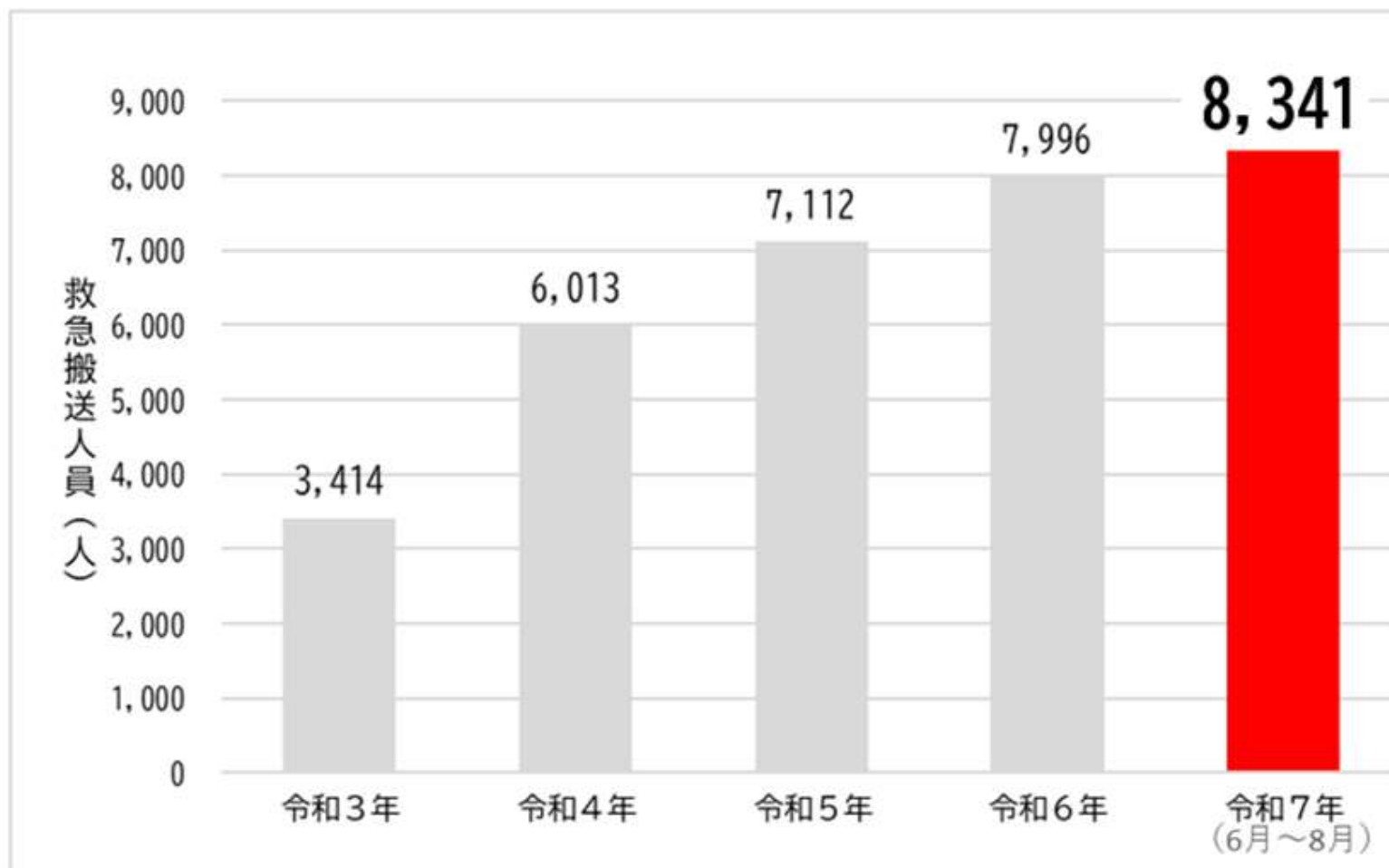
②農家・商店・食堂・市民

③日本在住の外国人

例：白井市でのインバウンド観光の可能性について考えよう。

- ① **基調講演：**インバウンド観光のマーケット:OTA(Online Travel Agent)
千葉県の場合（1人当たり消費額46位）など
- ② **作業→発表：**白井市の観光資源を写真でピックアップ:市民・在住外国人
梨・いちご・ぶどう・キウイ・自然薯・たまご・など
白井七福神・日本競馬学校・旧平塚分校・清戸の泉・滝田家・桜・田園
- ③ **作業→発表：**観光資源の活用方法：市民・在住外国人
ガイド付きツアー ナッシー号 サイクリング 送迎 見学 遊び
作業・収穫・昼食・試食（朝採れ、冷やす等）・販売・加工・加工販売
- ④ **討論→発表：**観光事業化の可能性 :OTA事業者・市民
（知見がお土産）
- ⑤ **討論→発表：**行政支援:OTA事業者・市民

③-1 熱中症救急搬送者数 8月で最多更新

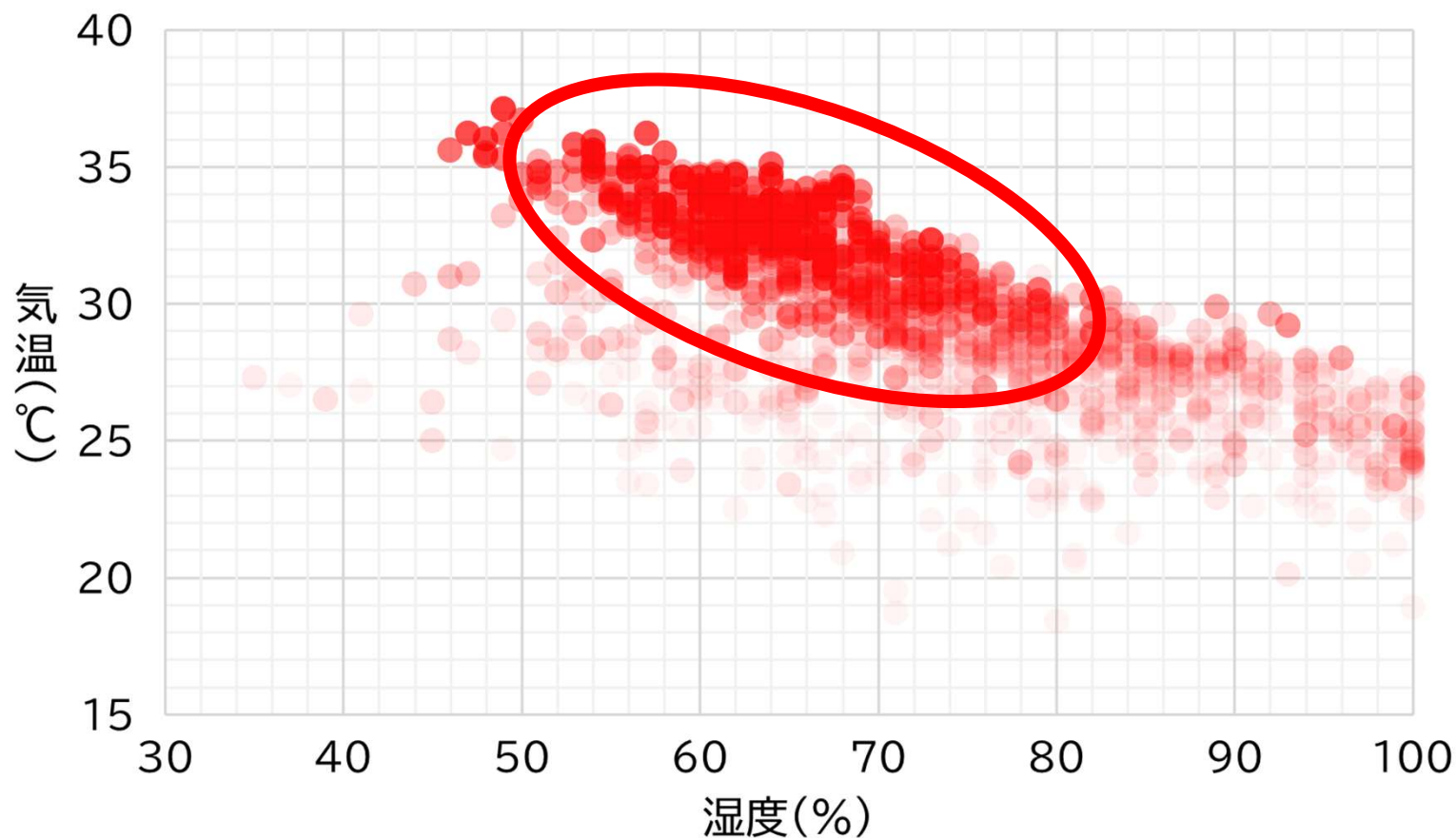


9月を待たずに
過去最多更新

過去5年間の熱中症による
年別救急搬送人員
(各年6月～9月)

東京消防庁
2025.9.1更新

③-2 救急要請: 気温28°C-35°C 湿度50%-80%



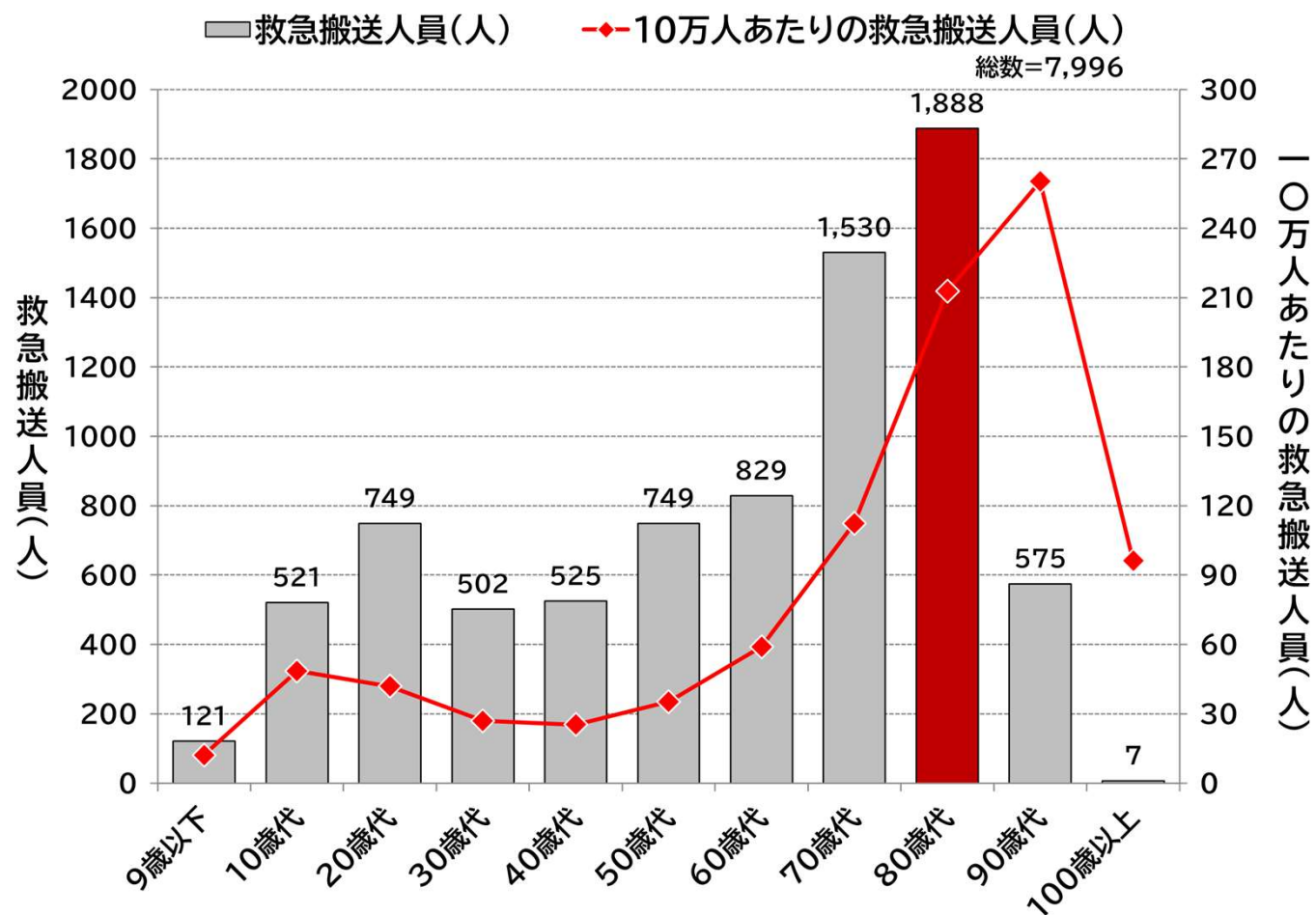
暑さ指数 (WBGT) が28を超えると救急搬送人員が急激に増加

気温が高なくても湿度が高いと救急搬送されている

救急要請時の気温と湿度
(令和6年6月～9月)
合計 7,996件中

東京消防庁

③-4 救急搬送者の最多は80歳代

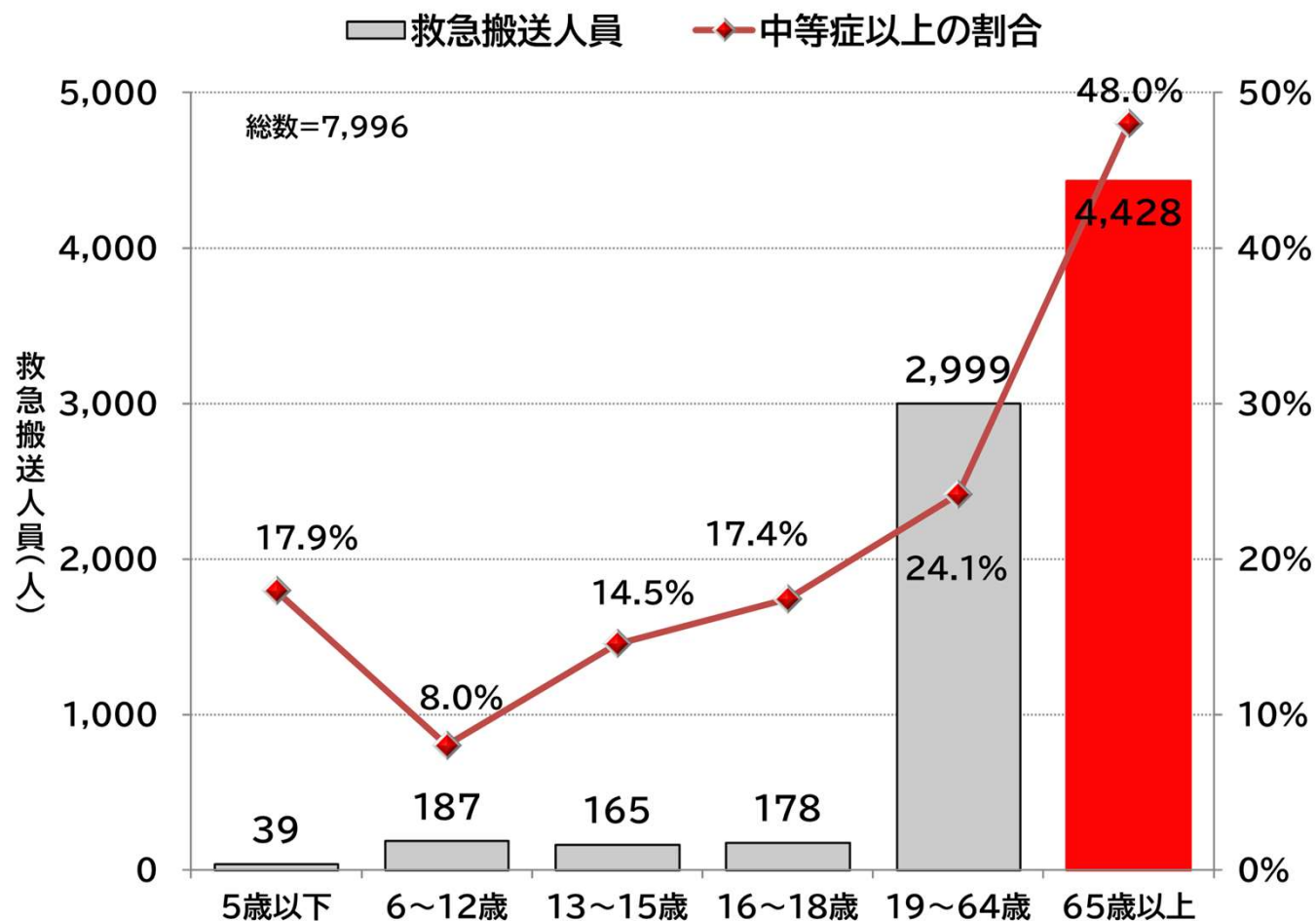


80歳代が1,888人
70歳代が1,530人

人口10万人あたり
90歳代が260人と最多

年代別の救急搬送人員
(令和6年6月～9月)

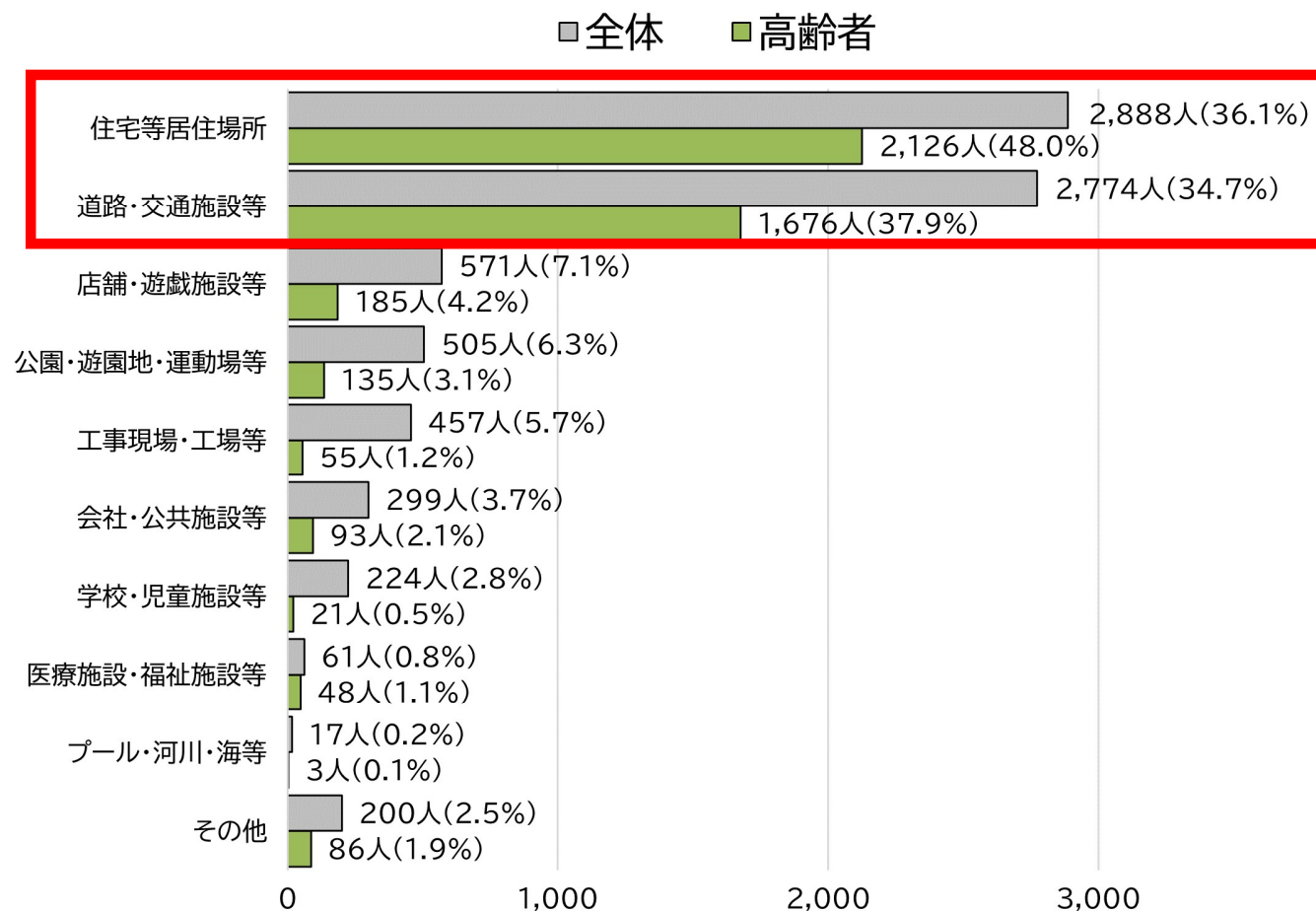
③-5 65歳以上の約半分が中等症以上と診断



65歳以上が
48%が2,126人
中等症以上と診断

年齢区分別の救急搬送人員と
初診時程度が中等症以上の割
合（令和6年6月～9月）

③- 6 熱中症は住宅等居住場所で発生



「住宅等居住場所」

2, 8 8 8 人 (3 6 . 1 %)

「道路・交通施設等」

2, 7 7 4 人 (3 4 . 7 %)

6 5 歳以上

「住宅等居住場所」

2, 1 2 6 人 (4 8 . 0 %)

年齢区分別の救急搬送人員と
初診時程度が中等症以上の割
合 (令和 6 年 6 月～ 9 月)

①-7 まとめ

- 来年以降も温暖化が進み熱中症リスクは拡大のおそれ
- 熱中症リスクは気温に加えて湿度も重大な要素
5月連休明け 6月梅雨 8月お盆 9月秋雨前線
- 救急搬送車の最多は80歳代。
65歳以上は中等症が多い。
- 室内・路上の発生件数が高い。
特に65歳以上の48%は室内で発生

**→室内でも伝わる熱中症アラート周知と
エアコン使用 水分補給の周知が重要**